

135  
767

474

禁書

神學博士  
宇宙神教とは何ぞや

日本宇宙神教学会

020268-000-5

特16-474

宇宙神教とは何ぞや

ヂ・エル・ペリン / 著

M24?

ABI-0073

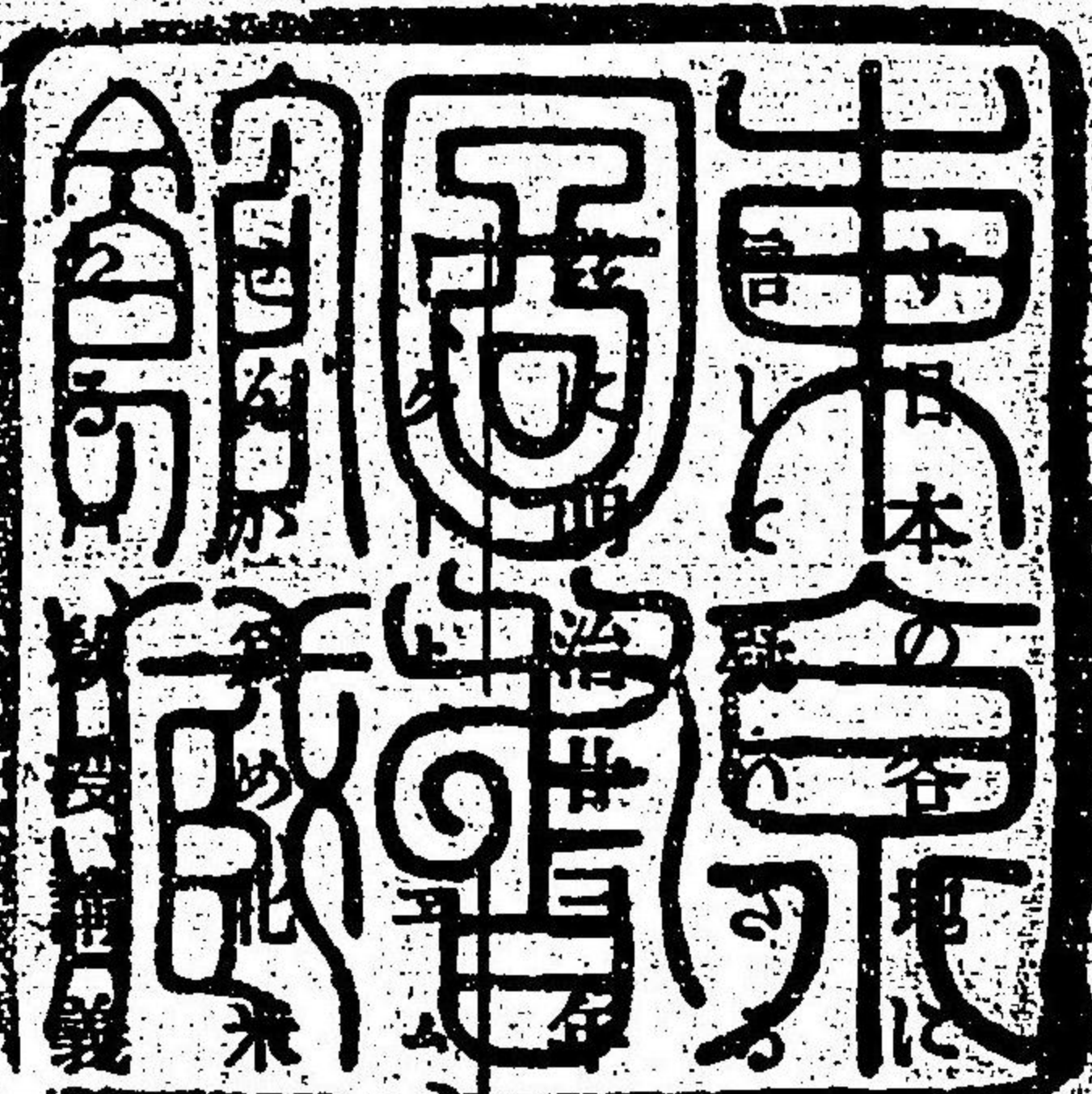


# 宇宙神教大意

## 宇宙神教とい何そや

ユニヴァーサル・サリスマ  
宇宙神教

日本各地に於て、數千の人々より起り來ること、吾輩の所なり、



四月廿二日、ギ、エル、ベリン、アイ、ダブルユ  
シ、スクーラの三氏、米國の宇宙神教を代表  
合衆國ポストン府より始て日本に到來し  
文學等の方法を以て、此の神教の思想を日  
本人民に通せんとの一定の目的を有し、着々將に爲す有ら  
んことを期するに在り、

抑も宇宙神教とい如何なるものぞ、事、政治上の生活に關す



る乎、社交上の生活に關する乎、或は又た其事宗教上に關する乎、先づ茲に此の質疑の起るに蓋し自然の理なるべし、若し單簡なる語を以てすれり、余の之れに答へて云はん、是れ人間の生活及び社會百般の事に關し、宗教心の官能及び宗教思想の方便に依り働くものなりと、

然らば則ち斯の人間の生活をして、一層高尚ならしめんか爲め、宗教の名に依りて働かんと欲する者に外ならず、其の代表者の縦令ひ使者と云ふも宣教師と云ふも其の名の如何に拘りらず、皆米國宇宙神教教會の保護を受け派遣せられたる者なること明らかし、

### 其教會員は何人ぞや

宇宙神教との何ぞやとの質問に對し、其の答辨をなすに先

だち、吾輩の茲に一瞬間其の歩を止め、先づ吾輩の代表する教會に就き一言せん、

夫れ米國宇宙神教教會の、其の經歷一百餘年の歴史を有し、現今既に善く整頓せる四大學カレッジと四高等中學アカデミーとを有し、四種の有力なる毎季雜誌、其他種々の定期小刊行物を有し、加ふるに一の富有完全せる出版會社あり、發刊の卷帙數百種の多きに上り、教會の設立殆んど一千に達し、其中多くの甚た大且つ勢力強き都會の教會なり、宣教師の無慮八千有餘人ありて皆鞠躬盡瘁し事に従へり、嘗て米國非奴隸大戰爭の日に、我が宇宙神教徒の此の一大勢力を以て斷然自由主義に左袒し又た禁酒問題の事に至ては、嚴に過度の飲酒に反對し、法律と秩序との爲め、公衆の感情を教育せん事に盡力

せり、日本に於て吾輩の代表せんと欲するもの、則ち此の強固にして勢力ある米國の教會なり、然らば其の教會の如何なるものにして、其の會員の如何なる人ぞ、佛教の信者なる乎、將た孔孟の徒なる乎、或は耶穌の徒なる乎、回々教の殿堂又は基督教の神卓に禮拜するの人なる乎、

### 明白なる基督教信徒なり

吾輩の基督教の信徒なり、然りと雖も、佛教の深奥幽玄なる哲學及び孔夫子の孝行主義の價值の毫も貶低せず、特に神統の愛國主義に對しては最も熱心に之を稱賛する者なり、宇宙神教の實に基督教なり、然りと雖も、吾輩の人類を高尙なる位置に進歩せしめんが爲め、大に與かりて力ありし

諸宗教の大教導者を視るに、常に尊敬と感恩との心と以てする者なり、其れ然りと雖も、其の生活と其の名とに至ては、千八百年の間に最も高尙なる開化を組織したる大預言者に對し一層大なる尊敬と從順と信用とを以てする者なり、即ち基督の他の宗教の教導者より一層高尙なる教導者として崇ふ者なり、基督の實に最も高尙なる個人的生活の秘訣と、最も真正なる進歩の萌芽とを世界に與へたりと信するなり、

### 宗教自由

吾輩の自ら確信する所あり、確信する所との何ぞや、明白に基督教を信すること、是をなり、日本に於て吾輩の他宗に對するの、米國に於て始終に吾輩の爲したる如く、堅く宗教自

由たるべし、宗教自由との何の謂そ、佛教、波羅門教、基督教の別なく、苟くも宗教に熱心なる人に對しては、何人を問はず、好意を以て交際するなり、然りと雖も、彼等が唱道する所の説にして、吾人の妄誕無稽となすものと雖も、敢て抗論せずと謂ふに非ず、縱令は吾輩と其説を異にするとも、若し其説にして社會を一層善良ならしめ、人間の生活を一層幸福ならしむるに熱中盡力するを認むれば、吾輩は喜びて尊敬と禮讓と信切とを以て相交するなり、而して吾輩が認めて保守基督教信徒の迷信なりとするもの、今後幾度か論戰を開くの機會あるべき、吾輩の既に豫期する所なり、故に今此の第一の發刊に當り、吾輩の熱心に述ふるは、過去二十一年間に日本に於ける基督教の諸派が爲したる事業を稱讚

し、併せて吾輩の本國に於ける事業の爲め、早く是等の諸派の親切なる事業と一致結合し協賛する能はざりしを遺憾とするに在り、

### 他の基督教との異點

宇宙神教にして果して其の思想目的に於て基督教たりとせば、他の基督教と相異なる點の何處に在りや、今此の疑問の茲に起るも亦た是れ自然の勢ひなり、蓋し宇宙神教徒の唱道する所、其の説の基礎に至ては、他の基督教の諸派と敢て相異なる所なく、各派の基督教會と殆ど同意なる點多しとす、然りと雖も、或る點に於ては、日本に於ける基督教の最も通常なる説に對して、其の基礎全く相異なるものあり、請ふ先づ之れを辨せん、廣義を以てせば、宇宙神教は自由主義

なり、「オルシドックス」即ち世人の所謂「エヴンゼリカル」派の神學は保守主義なり、宇宙神教は精神に重きを置き、「オルソドックス」派は文字に重きを置く、宇宙神教は樂天教にして、「オルソドックス」派は厭世教の傾向あり、是を以て吾輩と他派との間に一致し得るの論點を擧げ來るは、吾輩の好て爲すべき所なれども、吾輩は宇宙神教の何ものたるやを明瞭ならしむるに急なれば、先づ他派と相異なる論點の二三を説くこと亦た極めて必要ならん、何となれば、此れを擧ぐれば、自然一致の論點も亦た從て見るを得べければなり、

### 宗教は天性なり

夫れ宗教の、恰も人身に手足あり頭髮あると一般、人間の靈魂に附着したる天性物あり、宇宙神教は實に斯く信せり、故

に人或は我れ新たに宗教を得たりと言はん乎、是を誤解にあらずして何ぞや、世に何人の宗教を得ん、又た何人か之れを失はん、人各々此の天賦の美德ありて先天に宗教を有す、恰も人の生れながらに運動の力を有し思想の可能性を有するが如く、宗教心をも亦た實に生れながらに稟有せるなり、自然の方法を以て他の諸官能に訓練を要するが如く、既に人性の一分を占むる宗教心も、亦た教育を要し訓練を要すること固より論なし、思ふに、世に精神の修養厚からざる人少からざると等しく、宗教心の涵養深からざるもの亦少からざるは蓋し免かる能はざる所なり、然りと雖も、各人皆生活の中に既に宗教の萌芽を含有せり、若し之れを培養するに最良の方法を以てせざれば、不幸之れより甚だしき

はなし、宇宙神教が既に此の點に最も健全ならんに、他の佛たり孔たり將た基たるに論なく、各自に其の宗教心を養成するに注意せざるの理あらんや、然りと雖も、真正なる卓説の真正なる生活の爲めに常に最善の基礎と成す、故に宇宙神教は人間の宗教心の發達に關し、百事に良好なる定義を附したる卓説を有し、是等の説を稱して吾輩の神學とせり、

## 神

各基督教會と同じく、宇宙神教は人性的の上帝あるを信じ、世に神なる者なしとする、彼の無神論及び萬物即神論を主張する、彼の万有神教を擯斥し、世界創造の解釋は唯た此の一義を以て明なりとす、物質或は永劫ならん、靈氣或は無窮

なるべし、有は或は無より來りしも知る可からず、然りと雖も、無より有の生じたりとは吾輩の觀念し能はざる所ならずや、故に吾輩は茲に第一原因あるもの儼然として存したりしを信せざる可からず、試みに宇宙自然を觀するに、眼光の達する處、思想の及ぶ處、何處も叡智の意匠を明示しつゝあるを認識すべし、是に於て吾輩は第一原因を以て精神若くは靈氣とし、物質には非ざることを論結す、既に叡智を以て第一原因の理想に達したり、吾輩は之れに命するに神なる名を以てす、加ふるに乾坤に充塞せる幾多の証據は、皆吾輩をして進で神に洪大無邊の勢力と慈愛とあるを認識せしむべし、吾輩は實に此の有神論を以て宇宙を解釋するに最も道理的學術的の解釋なりと信するなり

## 神は善なり

宇宙神教は神の無窮不易にして善なることを確信す、蓋し「善」の原語は「グット」と云ひ、「ゴット」即ち神なる語の變形なり、古代「サキソン」語の「ゴツド」即ち神なる語と、「グツド」即ち善なる語とは、元來一語にして二語にあらず、復た以て神の善なるを表せるものと謂ふべきなり、而して神の善なる明証と默示とは、蓋し其の創造の形跡に就て歴々観るべきなり、彼の蒼たる高天なり、彼の茫たる海洋なり、皆是れ神の儼存し給ふを認むべく、四時の變更、梅花笑ふて黃鳥嘲し、春風來りて百花爛熳たり、皆是れ上帝の吾人の生活に娛樂を與へ給ふに非ずして何ぞや、サヤ氏云く、神の眞禮若し愛ならんに、若し無窮不易にまて善ならんに、神の爲し給ふこと皆

悉く善なるべし、神の既に過去に爲し給へること、又た將に未來に爲さんとすること皆悉く永遠無窮の愛より生ぜざるはなし、人間の創造、世界の統治、天命、神の法則、神の刑罰、交々來る朝歡暮憂、運命の善惡幸不幸等、總て仁愛深き神の靈智より創造せられたるものなれば、皆悉く幸福多き目的を有せざる可からず、と故に神の常に完全なる愛を以て人に對する主宰なり、神の政治には復讐なく怨恨なく、又た曾て殘酷なる處置あることなく、實に神は人間を愛するに圓滿なる愛を以てするものなり、

## 神は父ある事

宇宙神教は常に神を以て力、智及び善に於て圓滿なりとし之れを表するのみならず、新約全書の明瞭なる教訓に従へ



ば、上帝は人類に對し愛深き父なることを明言せり、實に神の人間に關係を有するは、此の一義たることを教へとす、神は恰も慈母の其の兒を襁褓の裏より墓田に入るまで愛するが如く、始終之れを愛し給ふなり、神は實に無數の小兒の爲め、其の生命と快樂との泉源たり、晝夜吾人を庇護し、其の需めに應ずること最も親切にして、決して吾人を忘却し給はず、又た神の眼界以外に吾人の彷徨するを許し給はず、常に其の創造し給ひし小兒の十全なる父となり、吾人を統治し、獨り此の世の生活に於てのみ吾人の父たるに非ず、身後の世に於ても永遠に同一の關係を有し、吾人若し誤て放縱なまきは、之れを矯正し給ふこと、猶ほ慈母の其の兒に於けるが如く、縱令ひ吾人か放縱なるも、尙ほ且つ吾人を愛し給ひ、

吾人の彷徨せるときと雖も、絶えず其の愛を以て吾人を保護し給ふなり、

吾人は使徒保羅と俱に信せんとす、(羅馬書第八章)或は死或は生、或は天使、或は執政、或は有能、或は今ある者、或は後あらん者、或は深き、また他の受造者は我儕を吾主イエス、キリストに賴る神の愛より絶らすること能はざる者なるを

### 神の政治

宇宙神教は、上帝の小兒に對する神政の完全にして正義なる政治なることを教へ、父なる上帝は、其の家族に對し、親たる者の統御を行ひ、其の政府を尊敬せんことを教へ、他なし是れ元來政府あるもの、神の小兒を保護し、幸福を増さんが爲めに設立せられたるものなり、而して神は實に其の法

律に従はざる者を罰す、是れ其の罪を悔ひて改めんことを期するなり、是れ上帝の親たる性質、及び其の政治の能力と目的とに就て吾人が希望する權力を有する唯一の理由なり、夫れ總て地球上に在る真正なる政府の目的は、其の支配する人民の繁榮と發達と幸福とを求め、成立すべき權力ある各家族の家庭政治は其の子女に最良の教育最高の品格を與へ、以て長く幸福を享くるの目的とするに非ずや、上帝の政治に於けるも亦た然り、王國の王たると家族の父たるとに論なく、其臣民眷族の最高の善と福とを以て唯一の目的とし而して其の功を奏せんか爲めに、如何なる苦痛も刑罰も壓制も艱難苦行も敢て辞せず、苟くも之れを必要とするに於ては智識と仁愛とを以て之れを制定せざるなし。

## 刑罰

宇宙神教は刑罰なるものあることを信す、然りと雖も、永劫の刑罰ありとは信せざるなり、蓋し上帝の政府は父の政府なり故に總て刑罰の目的は一に矯正にあり、恰も父の其の小兒の善良ならんことを欲し之れを罰すると一般に、上帝も亦た其の小兒の善良ならんが爲め、其の罪惡を棄てしめんと之れを勧誘するの一方便とし敢て處罰を行ふのみ而して靈魂の罪惡尙は止まざれば、刑罰も亦た長く止まざるべし、上帝は各靈魂の正義ならんことを欲し、加ふるに上帝の方便は無限なるが故に、各靈魂は終に神の法律に服従せざるを得ず、又た刑罰は遂に各靈魂の前非を悔ひ既に罪を犯すもの無きに至らざれば長く止まざるなり。

## 永遠刑罰の道理なき事

十八

若し上帝の政治、慈父の其の兒に於けるが如く、唯た之れをして善良ならしめんとんの目的ならんには、永劫無限に人間を罰すると實に道理なき甚たしきものなり、永劫の刑罰は其の罰せられたる者をして遂に善ならしむる能はざるものなり、上帝の愛深き、豈に斯る理あらんや、若し刑罰にして果して改心と服従との結果を期するとせば、一年又は若干年の刑罰は、或は人間の靈魂を懲罰するに適當なりと、吾輩も亦た觀念し能ふと雖も、若し永劫無限の刑罰を受けんか、如何にして善に歸するの結果を收むべき、吾輩の唱ふるが如く上帝は深く人類を愛し、唯た此の小兒の善良ならんか爲めに罰し給ふのこゝ、上帝の實に此の世の父が其の兒を善

に導かんとして懲戒するが如く、人類をして善ならしめんが爲めに罰し給ふのみ、吾人の信するが如く、上帝の無限の愛と無限の力とを有し給へば、終に其の小兒をして從順に幸福に爲し給ふと必せり、何人と雖も永劫に苦惱に陥らしむるが如きことあらんや、基督教徒なり、佛教徒なり、回教徒なり、又た猶太教徒ありとて更に區別なく、神の總て人類を愛し給ふなり現に今彼等を愛し給ふのこゝちならず、既に久しく彼等を愛し、又た長く彼等を愛せんと欲し給ふなり、非基督教徒たりし吾人の祖先も、吾輩と等しく上帝の小兒なること固より論なく、同しく上帝の保護を受け安全なりしこと吾輩の今日に於けるが如し、故に吾人の世界を擧げ宇宙を擧げて、皆上帝の救済を得る者なりと深く信せざるを得ず、

十九

## 永遠の刑罰への恐怖すべき酷虐なり

宇宙神教の、永劫の刑罰を以て譬に無用なるのみならず、實に無情残酷を極むるものとす、今之れを明かにせんが爲め、茲に英國の有名なる學者の比喻を引用せん、曰く、一の獨木橋あり、橋下は巉巖たる千仞の深溪なり、之れに臨めば人をして戰慄せしめ、剩さへ狂風吹き止まず橋も爲めに動搖せり、一父あり、幼稚を伴ひ來り、之を一ツの崑上に置き、一大美物を對岸に懸け、約して曰く、兒よ、汝若し左右に眼を注がす、此の獨木橋を安全に渡るを得ば、彼的美物を褒美として、汝の有に歸せしめんと、是に於て兒は渡らんと欲するも、人の助くる無ければ、暫らく蹣跚したりしが、遂に意を決し一步踏み出せしに、橋忽ち動搖して脚を失し、悲ひべし轉して

千仞の深谷に墜ち入りたり、既にして眼を開き見るに、恰も刀山の如く、崑角尖銳、脚と立つるの地なく、幼稚は叫喚し煩悶痛苦を訴ふるも、父は馬耳の東風に於けるが如く、恬として顧みず、曰く、橋を渡り得ざりしより此の苦惱を招きしなり、是れ自業自得のみと、人誰か此の父を稱して惡鬼天魔と謂はざらん、「上帝豈に此の如き事を爲さんや、彼岸に天國と置き、此に達しなは入ることを許し、而して限り無き絶望の恐ろしき且つ猛火の熾々たる深谷に生活の獨木橋を架し、誘惑の風に動搖せしめ、其の危険の如何と知りながら、強て之れを渡たらしめんとす、我れ已むと得ず、之れを渡らんとして失墜し、終に此の暗黒なる捺落に墮ち永劫の苦しみを受く、上帝豈に此の如き事をなさんや、」

吾輩是に於て敢て問はんと欲するものあり、次の如し、如何なる議論なりと雖も、蓋し此の質問は免かる能はざるべし、曰く、神の果して善なりや、又た吾人が此の言語を以て表すが如き同一の意義なる正義の上帝なるや、將た然らざるや、若し吾輩の崇拜する神にして、吾輩の常に善なるものを理解するが如く善ならざりしならんには、吾輩は之れを崇拜せざるなり、否、斯る魔神を崇拜するよりは、寧ろ何物をも崇拜せざるの優れるに若かす、然るに、世の普通の神學は、最も賤劣なる人間すら、尙ほ且つ爲さざる事をも神の之れを爲すとせり、是の如きは神をして古來歴史の中、最も野蠻的、最も邪惡的のものと同等なる道德の水準に置くものなり、宇宙神教の此の如き殘酷なる道理を擯斥し、此の如き邪神を

崇拜すること勿れと告げ、常に父の愛を以て其の兒を監護する、無限の愛を有する眞神を崇拜せんことを勸むる者なり、

### 人の天性

既に神は人類の父たることと信ず、是に於て、人の性質は小兒の性質たらざる可からず、人類の神に關係せる理由は、單に神の創造に係るの故にあらず、職として神の性質を分與せられたるに由る、故に吾輩は人性全く邪惡なりとの教義を非とし、全惡の人なきを信せんとす、人各々少くとも善の萌芽、即ち神性一點の嫩芽を有せざるはなし、人は皆神の子なり、決して此の關係を全く失ふこと能はず、吾輩は古代の祖先より何物の遺傳ありとも、自から神の法則の違犯者と

なるに非ざるよりは、吾輩に罪科あるべき理由なし、吾輩は人類は罪深しとす、又た罪深き傾向は人の生活に甚だ大なる勢力あるを知る、然りと雖も、或は人の邪悪は天性なり、或は人は其の性全く悪なりとする両説の如きは孰れも嚴に擯斥するなり、人の生るゝや、無學にして徳義に弱く、罪業に陥り易し、然りと雖も、アダム、イヴ、又は吾輩の親の罪の爲め、何の理由ありて其の罪を受くるの責めありや、吾人は唯た自から犯せる罪惡に限り、其の責めありて罰せらるべきのみ、抑も人は神の子なり、故に善と正義は自然にして人の生活に貴重なる一大勢力たらざる可からず、

### 基督の性質

宇宙神教は基督の神性ダイサキニデーたるを信すれども、其神ダイたることは信せざるなり、聖書の教旨、全趣意に隨ふに、神は一にして二にわらず、固より三にわらず、唯た一なるを信するなり、故に吾輩は彼の三位一體の教義を拒絶し、又た基督は神に非ずとす、然れども、人間の教導及び救世主たらんが爲め、神の如く准許されたる神の子なりと信するなり、吾輩は三位一體の教義を以て實に不必要とし、非聖經的、非理的とし、直ちに之れを廢棄するなり、

### 基督の働き

ドクトル、ホ、コーン氏の言ひし如く、宇宙神教は基督を以て宗教の教權ある教師として尊敬す、基督は神に就き人自らの性質に就き、人の義務及び運命に就き、心靈的生活の爲

し得らるべき事、及び聖められたる人と爲りの恩恵と勢力とに就き、加ふるに職務に聖なると、及び已れを棄てたるより得たる神の強さに就き、最も高尚なる黙示を爲し、且つ又た苦痛と死との恐怖以外に靈魂を超越せしむる能力を有したり、(中略)基督の實に人間の救主なり、即ち人間に天父を示し、父に到るの大道を示し、自から亦た此の道を踐み、非凡なる克己の生活をなし、終に從容として死に就き、其の死は特殊にして迥然他と異なり、且つ神に從順なるは永遠の價値なることを教へて説明し、人と眞理とに盡す所あらんが爲め、其の身を聖め其身を献けたる人間の救主たり、耶穌の實に其の生活に就き、精神上の争闘と十字架上の痛苦とを以て眞理と人間との爲め自から身を犠牲に供した

り、然りと雖も、其の死たるや、神の憤怒を寛めんが爲め敢て犠牲に供したるには非ず、蓋し耶穌の生活を見て、人たる者は如何に生活すべきやを知り、耶穌の死に就くを見て、人たる者の眞理と正義との爲め、如何に勇氣に死す可きやと知らんが爲めなり、

### 靈魂の不滅

宇宙神教は靈魂の不滅なることを信ず、靈魂は各々死後其の生活を繼續す、靈魂は死無し、唯た肉體の死するのみ、靈魂は長く生活す、實に吾人は何故に此の世に生活するやの説明は唯た此の一事あるのみ、何となれば、吾人を存在せしめたる全智全能の上帝ありとせば、上帝豈に僅かに此の短日月の間を以て吾人の生涯とせん、神は吾人に靈魂不死なり

と思想し得るの天性と直覺力とを賦與しなから、吾人が死と呼ぶ事に於て、此の無窮の生活を俄然切斷するが如き愚弄をなさんや、又た永遠の生活は吾人現世の生活より一層驚ろくべきものなりとする理由の更らにあらざるなり、吾人は死すとも靈魂は依然生活するに非れば、如何して現世の生活に貴重の目的あるを觀念し得ん、人間は如何なる時代如何なる邦土、又た如何なる状態に於けるも靈魂不滅の天性を有するなり、眼の爲めに光あり、魚鱗の爲めに水あり、鳥翼の爲めに空氣あるが如く、此の普及の天性と永遠の生命との希望に満足を與ふるは、唯た靈魂不滅の一事あるのと他に何物か能く満足を與へんや、

### 無終の進歩

宇宙神教は無終の進歩を信じ、一の場所たる有形的天國を信せず、況んや一の場所たる有形の地獄なるものをや、天國は實に一の場所にあらず、一の状態なり、即ち正義の状態なり、人の此の世に生活を始むるや、恰も初學の兒童の如し、先づ學校最下の階級に入り、其の學業を卒へ、始て高等に昇るを得、人は實に此の學童の如し、先づ此の世の生活に入門し、暫らく其の學業を學び、尙は高等の學課を修めんが爲め、一層高尚なる生活に昇級す、斯くの如くにして一步一步を進め、其の進歩停止するの期あること無し、是れ之れを無終の進歩とす、

### 經典

宇宙神教は、經典を以て神の品性、人の義務及び其の命數の



默示を包含するものとす、然をも、一句一言、皆神託に依ると云ひ、又た毫も誤謬なしと云ふの説を拒絶す、經典は實に神語にあらず、神託を受けたる人の言語と含む文學として觀ざる可からず、又た經典は世界の中に最も高尚なる記録を含み、信仰を以て人を感動せしめ、廉潔高尚なる生活に導く勢力の充満するものとす、吾輩は常に迷信的の崇拜を以て經典を讀まず、故に鴻儒シヨン、ローソ氏と同じく、聖經は神より人の子孫に賦與せられたる最大恩物の一たるは、其價值を知る人の一般に承認する所なり」の語を肺肝に銘せんとす、

## 道 理

宗教上の議論は、總て科學と哲學とに於けるが如く、人間の

道理の最も嚴密鄭重なる試験に服従せざるを得ず、されども、吾輩は一層卓越せる光<sup>ひか</sup>りによりて助けられざる人の唱ふる所の道理に至ては、宗教の問題を解釋するに適せるものと確定するを得ず、總て道理に反せる神學説は容れられざるものと確定す、他なし是れ苟くも道理なくして正しき信仰のあり得べからざるを以てなり、經典の解釋も總て他の書籍と同一の道理に基かざる可からず、吾輩は論説如何に神聖なりとも、如何に古雅なりとも、苟くも道理の最も嚴密なる試験に遭ふて堪へ得ざらんか、吾輩は排斥して毫も猶豫する所なし、然るに博く解釋したる基督教の基礎眞體に於ては、遙かに無道理の境界を距り、全く道理に適合せるを見出せり、是れ實に宇宙神教が、其の確信する處に於て大

に満足する所なり、實に人の最も高尚なる感情に訴へ、熱心に訴へると俱に其の宗教哲學を容るゝに常に道理に據るときは、批評の如何なる論鋒と雖も、實際之れを傷くること能はざるなり、

### 宇宙神教は實力なり

吾輩は此の如くにして日本の人民に吾輩の思想の説明を與へ、尙ほ斯の人民の生活と社會とに對し、大實力たるに適したる一の神學と與へんとす、即ち其の神學の有神説は、以て實際的且つ道理的の解釋を與へ、其の神の父なる説は、以て人間生治の最も道理的なる説明を與へ、神若し總ての父ならば、永く總ての人を愛すべし、人若し神の小兒ならば、何人も神に忘却せられ見捨てられたりと恐るゝを要せず、又

た恩惠多き不死の教義は、死期近き人に向て喜望を與へ、憂苦せる朋友に慰藉を與へ、無終進歩の教義は、心に尙ほ狐疑踟躇せる人に對して「改むるに遅ららず、失望する勿れ」と云ひ、又た賞罰の明確なる教義は、吾人に勢力強き動機的の從順を與へ、耶穌基督の教導は、人間の子孫に古來知られたる高尚なる生活の最も高尚なる事例を與へたり、是を以て何人たりとも此等の主義を受け、自己のものとなすに於ては、生活の總ての事件は高尚なる神託を受け得べきなり、

### 日本に於ける吾輩の希望

第一、吾輩は日本人民に、吾輩の神學の明確にして了得し易き理解を與へんことを望み、又た自由基督教主義の公平なる説明を斯の人民に與へんことを望むなり、而して是れ

即ち以上に略説したる理由の爲めに實行せんと欲するものにて即ち基督教の此の博き解釋は、斯の人民の心中及び社會に於て大なる實用的の道德力たる可く、抑も人は總て神託と希望と要し、自由基督教は其の樂天主義の哲學を以て之れに應ずるに最も緊切のものたるべし、

第二、吾輩の確かに信ずるが如く、若し宇宙神教々會が日本に設立せらるゝに至らば、米國に於ける如く、日本に於ても亦た道德上の總ての改良に躊躇せざらんことを希望し、其の宣教師の聲は、鯨飲不攝生の害、放逸淫樂の罪、諸種の不正、社交上又は一個人の腐敗に反對して、常に四隣に響徹して之れを切誠せんことを希望し、併せて米國に於ける其の高尙なる不記無形の譜録に符合するの實を擧げんことを

切望す、

第三、吾輩の日本に渡來せし所以は、決して破壊せんが爲めにあらず、建設せんが爲めなり、基督教の信仰を擾乱せんが爲めにあらず、之れを養成せんが爲めなり、争はんが爲めにあらず、働めんが爲めなり、吾輩の解釋する如く、實に基督教の真理の固有なる道理に據り、夥多の生靈(人)を従順なる弟子と爲さんと欲するなり、故に吾輩は上帝の天命に就き、此の希望多き解釋を一層善く學ばんと欲する人あらば速かに告知あらんことを希望して止まず、

## 生徒募集廣告

今般日本ノ諸部ニ自由ユコヴルサリスト「教ヲ設立スル目的ヲ以テ當  
秋期ヨリ一學校ヲ開キ專ラ神學及ヒ哲學ヲ教授シ此教ノ傳道者タラ  
ント欲スル青年ヲ訓練セントス

### 入學規則

第一、入學志願ノ青年ハ善良ノ徳性ヲ有シ其生活ヲ基督教傳道ニ專  
任スル熱心ナル欲望ヲ有セザル可カラズ

第二、英語普通ノ學力ヲ有セザル可カラズ

第三、科學普通文學就中日本記事文ノ聲譽アル試験ニ及第スル者ニ  
限ル

尙ホ詳細ヲ知ラント欲スル者ハ東京麻布三河臺町三十二番地ヂ、エ、ル、  
ペリソ、宛ニ申込ム可シ

明治二十三年八月

